

-답시고

~のつもりで（あきれた口調で）

本人はそう思っているが、話し手は認めないという皮肉を含みます。日本語の「気取って」に近い形です。

■ つけ方

状況	形	例
動詞	-ㄴ/는답시고	돕다 → 돕는답시고
形容詞	-답시고	예쁘다 → 예쁘답시고
名詞	(이)랍시고	선배랍시고
後ろ	否定的な結果	망쳤다・ 방해했다 など
主語	三人称中心	他人への批判
続けて書く	답시고 は語尾	돕는답시고

■ 使い方と注意

本人の主張を認めない皮肉を含めます。돕는답시고 오히려 방해만 했어요（手伝うつもりでかえって邪魔しただけでした）。

話し手の否定的な評価が入ります。「本人はそう言うが、実際は違う」という含み。日本語の「~のつもりで」「気取って」に近い皮肉です。

後ろには失敗や迷惑が来ます。「そのつもりだったが結果は逆だった」という流れが典型です。

他人への批判に使うのが基本で、自分には使いません。目の前の相手にも失礼になります。

■ 例文

- 1

돕는답시고 나섰다가 일을 더 망쳐 놓았다.

手伝うとか言って乗り出して、かえって事を台無しにしました。
- 2

공부한답시고 방에 들어가더니 게임만 했다.

勉強するとか言って部屋に入ったのに、ゲームばかりしていました。
- 3

바쁘답시고 연락 한 번 없더군요.

忙しいとか言って、連絡一つよこしませんでしたね。
- 4

전문가랍시고 나서서 엉뚱한 소리만 했다.

専門家気取りで出てきて、見当違いなことばかり言いました。
- 5

직접 만든답시고 손댔다가 오히려 망가뜨렸어요.

自分で作るとか言って手を出して、かえって壊してしまいました。
- 6

선물이랍시고 준 게 겨우 이거였다.

プレゼントのつもりでくれたのが、たったこれでした。

■ 紛らわしいもの

-(으)려고
単純な意図です。답시고 は皮肉と否定的評価が入ります。
도우려고（意図） / 돕는답시고（気取って）

-(으)ㄴ/는 척하다
ふりをすることです。답시고 は本人が本気でそう思っている点が違います。
돕는 척하다（ふり） / 돕는답시고（本気のもり）

-노라고
「精一杯やったが」という自分の弁明です。답시고 は他人への皮肉です。
하노라고 했는데（自分） / 한답시고（他人）

■ まちがえやすい点

- ✕ 제가 돕는답시고 했어요.

○ 제 댄에는 돕는다고 했어요.

自分には使いません。
- ✕ 돕는 답시고

○ 돕는답시고

語尾なので続けて書きます。
- ✕ 선배님이 선배랍시고 — 目上の人に

○避けてください

皮肉なので目上の人には使えません。